

# まちかど

## であいこうか DEAI KOKA

地域で活躍されている元気な方を紹介するコーナーです。

世界少年野球大会日本代表  
北林雅也さん(土山町山女原)



### 世界一を励みに さらなる挑戦を

8月にメキシコで開催された硬式野球の「世界少年野球大会」に出場した北林雅也さん。県内でただ一人、日本代表20人の一員として選ばれた北林さんは、現在、土山中学校3年生。野球のコーチをしていたお父さんの影響で、小学3年で野球を始め、中学1年からは、クラブチーム「オーミボイズ」に入り、外野と投手の経験を積んでこられました。中学校では陸上部に所属、短

距離を得意とし、2年の県中総体では100メートルで2位という実力の持ち主です。その俊足を活かし、オーミボイズでは、2年生からレギュラーとして活躍。中学最後の夏に向けて練習に励んでいた5月末に、日本代表メンバーに選ばれたとの通知が届いたそうです。「驚いたと同時にメキシコの地で外国や外国の選手たちとプレーができる喜びで胸が高鳴った。」とそのときの興奮を語ります。大会には、6か国10チームが参加し、日本が3連覇。北林さんは、5試合中3試合に5番左翼手として出場しましたが、外国の選手の投げる重い球に苦し

み、思うように打てなかったとのこと。「今までに経験したことのない高いレベルの野球を目の当たりにして、たくさんの方々と学び、反省ができました。世界一の経験を励みに、さらに大きな夢に向かって挑戦したい。」と世界の舞台を振り返って、ますます意欲を燃やしておられます。今まで敵同士だった全国の仲間たちとの出会い、そして彼らと生活を共にした9日間の経験はこれからの北林さんの力となるはず。「野球の強い高校に進学し、将来はプロをめざしたい。」と話す北林さんの今後に注目です。



▲日本代表の選手たちと(中央列右から2番目が北林さん)

## 甲賀の地に響く 和太鼓サウンド



▲大人の100人太鼓で会場の熱気は最高潮に



▲オープニングを飾った地元甲賀忍玉太鼓団の演奏

甲賀町の鹿深夢の森で「和太鼓サウンド夢の森2007」が8月25日(土)開催され、2,500名を超える観客で会場は満員、熱いサウンドが甲賀の地に響きました。

このイベントは今年で10周年を迎え、プロによる一夜限りのスペシャルユニットが結成されての演奏があるなど、例年以上に会場が盛り上がりました。

第1回目から参加の地元小佐治すいりょう太鼓は、このイベントをずっと支え共に成長してきました。また、オープニングを務めた甲賀忍玉太鼓団は日頃の練習の成果を発揮し、元気いっぱいの演奏を披露しました。

最後は、花火が夏の夜空を焦がし、会場の皆さんは過ぎ行く夏を惜しんでいました。



▲交通安全ルールを守る歌を披露する水口西保育園児



▲メッセージを伝えるキャラバン隊

### 交通事故撲滅をめざし 全国キャラバン隊来庁

交通安全啓もう全国キャラバン隊が9月11日(火)、甲賀市を訪問し、内閣府特命担当大臣からの交通安全メッセージを伝達しました。これは、地域住民の交通安全意識を高め、地域に根ざした交通安全活動の実践を図るため、全国を巡回されているものです。

伝達式では、メッセージの伝達のほか、水口西保育園の5歳児28名が、交通安全ルールを盛り込んだ「サザエさんの交通安全のおやくそく」の歌などを歌って交通安全を呼びかけました。安心して暮らせる地域社会をつくるには、運転手の自覚と責任が必要です。一人ひとりがゆずり合いの気持ちをもって、交通事故防止に努めたいものです。



▲「プララをきれいに」と草引きをされる甲南文化協会の皆さん



▲きれいになった忍の里プララ

## 伝承工芸「水口細工」を再び

～水口中央公民館講座～



▲中嶋市長も「伝承技術を復活させてあげてください」と講座メンバーの皆さんを激励

「葛」を用いて繊細な細工を施す民芸品「水口細工」。かつて、日常品として制作されたほか、伊勢神宮が20年ごとに建物を建て替える式年遷宮では、毎回、水口細工の箱などを奉納していました。昭和40年代に最後の伝承者が亡くなってからは、作り方がわからなくなり、また材料も入手困難となったため、衰退していったそうです。



▲昨年の文化祭に出品された作品

水口中央公民館の講座では、この水口細工を復元させようと、7年前から地元の皆さんが活動されています。研究の結果、使われている材料もわかり、最近では、身近なところでも調達できるようになってきたそうです。代表の橋本さんは「皆さんの自宅の蔵に眠っている文献や作品があれば参考にしたい。」と話しています。情報を水口中央公民館(☎62-0488)までご連絡ください。

### 文化協会の 皆さんに感謝!

敷地の広い忍の里プララにおおい茂る雑草を見かねた甲南文化協会の会員の皆さんが毎月、草引きを始めくださることにになりました。今回で3回目、写真は9月8日(土)・9日(日)に職員との協働で作業をしていただいたものです。普段は趣味に腕を振るっておられる皆さんですが、「プララがきれいになるのなら」と暑いなか時間をとってプララに来てくださいました。多くの方の協力のおかげでプララの施設周辺は美しく、利用される市民の方々にも大変喜んでいただいています。皆さんで大切に使いましょう。